

医療法人葵会



もりおか *Morioka Homecare Clinic* 往診クリニック

もりおか



— 岩手県の内陸部に位置

— 人口 **約30万人**

・ 高齢化率21, 2%

— 北東北の交流拠点都市

— もりおか3大麺

冷麺 じゃじゃ麺 わんこそば

— さんさ踊り

観客動員135万人

— どんと晴れ

NHK連続ドラマの舞台

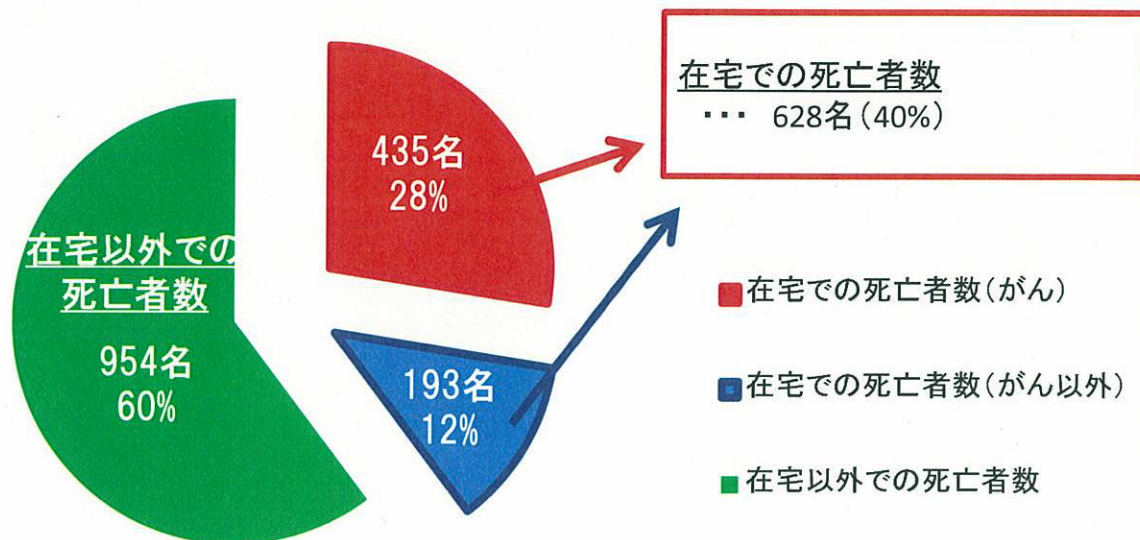
もりおか往診クリニックの概要

- 平成14年開院
- 訪問診療専門
 - ケアマネジメント・訪問看護・リハビリ等は他の事業所に依頼
 - 薬はすべて院外処方
- 在宅支援診療所(平成18年)
- 人員配置
 - 常勤医師 3名 非常勤医師 4名
 - 看護師 3名 事務員 3名

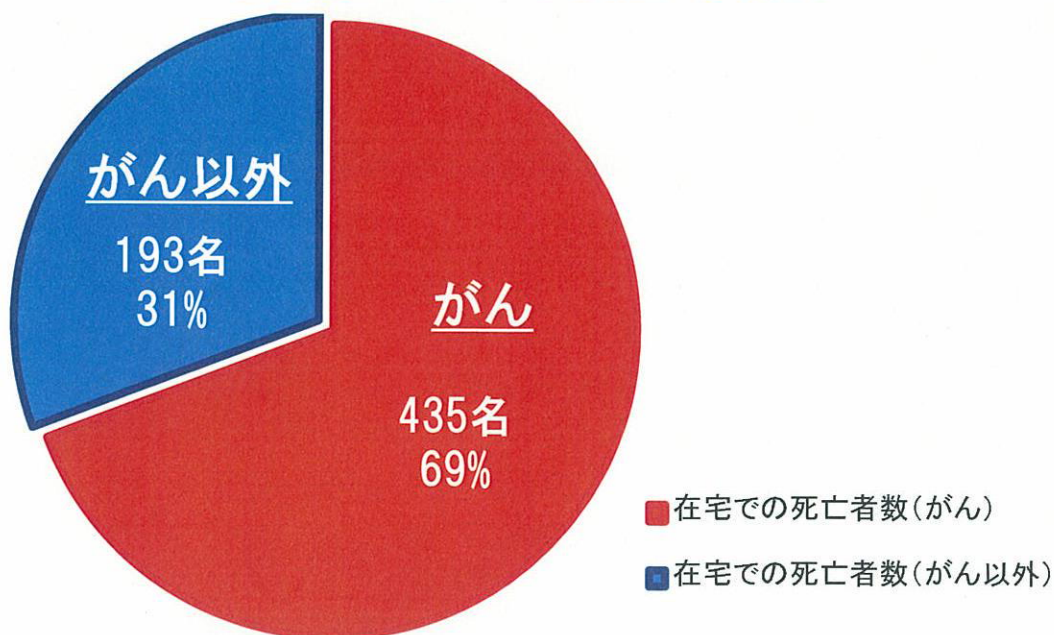
もりおか往診クリニックの特徴

- 訪問範囲
 - クリニックより車で30分
 - 盛岡市・近隣市町村の一部
- 24時間365日の往診体制
- 訪問件数
 - 40件/日 700～800件/月
- 患者実数 約300名
- 訪問対象
 - 寝たきりまたは寝たきりに近い状態で、通院困難な方

もりおか往診クリニック統計
在宅での死亡者数の割合
(平成14年～平成23年6月)



もりおか往診クリニック統計
在宅での死亡者数(がんの割合)
(平成14年～平成23年6月)



情報共有システム～チームもりおか方式～

在宅チーム共通電子カルテ機能

お互いに訪問時に何をしているか知らせあう機能

インターネット上のWEB入力でクリニックにあるサーバーに記録する方式



記録内容を各連携者へ

月間の書き込み数は約 3,000件
クリニック医師から 1,000件
ほかの施設からは 2,000件

WEBサーバーは個人毎の連携者を検索し、それぞれ記録されたものを電子メールで配信する。



情報共有システムの良い点・悪い点

良い点	悪い点
お互いに何をしているか確認できる	急激な変化の報告には対応が難しい
軽微な病態変化を医師が判断できる	PC操作に不慣れだと時間がかかる
病院主治医も在宅の様子がわかる	情報の流出が心配
膨大な文書作成を効率的に行える	ケアマネージャーの参加が少ない
患者の1カ月の予定表を確認できる	連携とプライバシーの保護は相反する
	善意の利用だけとは限らない

チーム医療 ～連携している事業所～

事業所種類		事業所数
訪問看護 ステーション	すべて 24時間対応可	16
訪問リハビリ		11
薬局	訪問薬剤管理指導可	2
ケアマネージャー		70以上

病診連携(10か所以上)

施設名	病床数
岩手医科大学付属病院	1,300
岩手県立中央病院	685
盛岡赤十字病院	464
盛岡市立病院	266
その他	1,418
合計	4,133

平成23年5月より 在宅支援病院(82床)との連携

診診連携

皮膚科	2
耳鼻科	1
眼科	1
訪問歯科	3
岩手県歯科医師会で「連携窓口」を設置 「チームもりおか」との連携 スタート地点	
在宅支援診療所	30

盛岡市の介護保険事業所 (平成21年7月現在)

施設種類	施設数
居宅サービス	821
居宅介護支援事業所 ()は、ケアマネージャー数	80 (231)
施設サービス ()は、ベッド数	30 (1,859)
介護予防サービス	821
地域密着型サービス	22
地域密着型介護予防サービス	21

地域における連携課題

災害復興
支援も
重要課題

チームもりおか
という名の懇親会
平成19年から活動

初回
36名

今年度
200名

連携の土台はある

在宅医療連携
チームもりおか
Team Morioka

平成23年5月開所
市内中心部に位置

部門別課題

訪問看護

- ・ 訪問看護ステーション間のスキルに差がある
- ・ ケアマネとの意思疎通が不十分

薬局

- ・ 訪問薬剤管理指導を行う薬局が少ない
- ・ 医師からの依頼が少ない

ケアマネ

- ・ 医療系サービスの導入に戸惑いがある
- ・ 支援と介護の移行期の関わり
- ・ 継続性の保持

リハビリ

- ・ 終末期患者への積極的なリハビリ
- ・ 呼吸理学療法的重要性
- ・ 医療処置(吸引等)の指導

部門別課題

病診連携

- ・再入院できない時がある
- ・在宅移行の時期が遅い

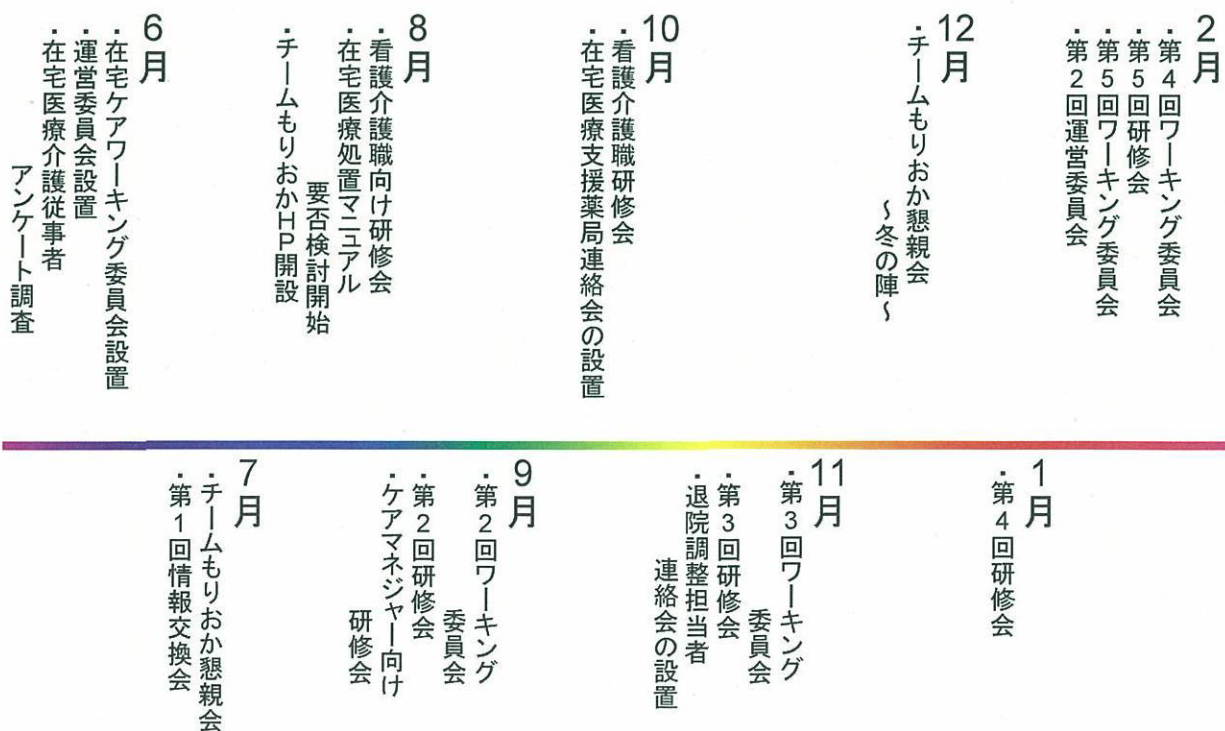
診診連携

- ・往診医が少ない
- ・特定の診療所に患者が集中
- ・ = 在宅医の疲弊

退院調整役 との連携

- ・他施設の現状理解が不足
- ・入院時からの退院調整が不足

拠点事業 ～活動計画・進捗状況～



<相談窓口>

一般の方からの相談
在宅医療・介護従事者
からの相談

<企画運営>

各種研修会の企画・運営
他事業での企画の共催
重度介護従事者への研修

拠点の役割

<訪問支援>

開業医との連携促進対策
情報共有の支援
療養場所選定の支援

<連携促進>

課部門別会合への参加
拠点事業所ラウンジ開放
連携システム整備
医療情報の集約・提供